

誰もが知っている「あのウサギ」の、誰も知らなかった秘密が明かされる。
 本書を読み終えて夜空を仰ぐとき、あなたは月に何を見るだろうか――。

**10月末
 発送予定**

げとこう 月兎考

なぜウサギは餅をつき 人は月に住みついたか

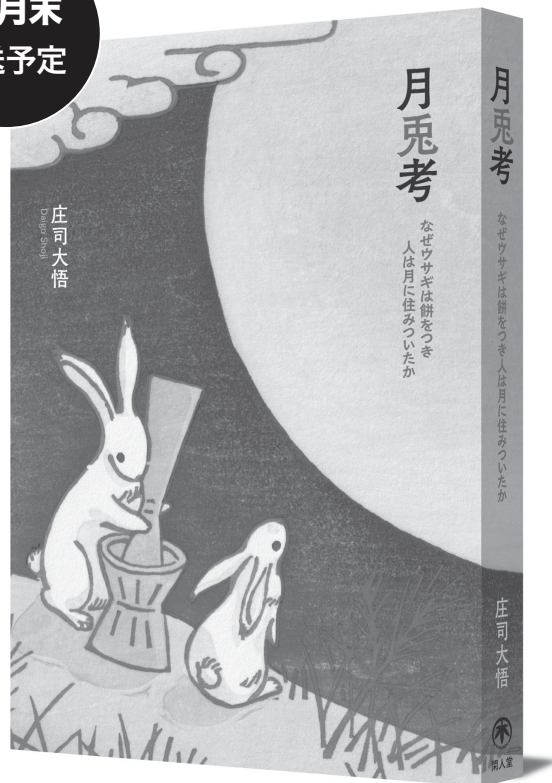
庄司大悟

 B6判・並製・208頁(カラー口絵8頁)
 2400円+税

インドで火に飛び込み、中国ではカエルと一緒に仙薬を作り、
 日本で餅つきを始めた「月のウサギ」は、紀元前から多くの
 詩や物語に登場し、美術品に描かれ、人々に愛されてきた。

なぜウサギは月にいて、餅をついているのか？

その起源と理由を探し求め、歴史と科学、AIによる検証から
 浮かんできたのは、人間の想像力と自然が「持ちつ持たれつ」
 で作り上げた豊かな文化だった。惑星科学者が古今東西の
 文献や図像を渉猟し、人と月とウサギの45億年を旅する。



月が美しい季節、秋の夜長におすすめの一冊

【著者略歴】しょうじ・だいご

1986年生まれ。神奈川県出身。
 東京大学大学院理学系研究科地球
 惑星科学専攻博士課程修了。博士
 (理学)。ドイツ航空宇宙センター
 惑星科学研究所、東京工業大学地
 球生命研究所、JAXA宇宙科学研
 究所研究員を経て、東京大学大学
 院理学系研究科附属宇宙惑星科学
 機構研究員。共著書に『火星の歩
 き方』(光文社新書)



- 1章 月のウサギの起源
- 2章 カエルと一緒に不死の薬を作る
- 3章 月の主役になりカエルと別れる
- 4章 惑星科学から見た月のウサギ
- 5章 日本のウサギ、試行錯誤の千年
- 6章 江戸時代の日本で餅をつき始める
- 7章 AIは月にウサギを見るか？
- 8章 人とウサギと月面人類学

コラム：月の模様とウサギの形／月のカエルと
 嫦娥伝説／何かに例える人間の能力 etc.

ご注文

1冊からお気軽にご注文ください(自動配本は行なっていません)

 どちらかに
 チェック➡

直接取引 (トランスビュー取引代行／返品可)

FAX 0120-999-968

取次ルート (鎌谷書店から全取次へ／返品可)

FAX 050-3737-4600

 新
 刊

月兎考 なぜウサギは餅をつき人は月に住みついたか
 庄司大悟

2400円+税

ISBN 978-4-910149-07-3

冊

注文数

貴店名／番線印

ご担当者